

## (10) 影響力係数と感応度係数

他産業に対する影響力の強い産業は、非鉄金属、パルプ・紙・木製品。  
他産業の影響を受けやすい産業は、対事業所サービス、商業、金融・保険、運輸。

影響力係数と感応度係数により本県各産業の特徴を見ると、他産業に対する影響力、他産業から受ける感応度がともに強い業種（図1の第1象限）は、非鉄金属、通信・放送、パルプ・紙・木製品、その他の製造工業製品である。

他産業に対する影響力が強く、他産業から受ける感応度が弱い業種（第2象限）は、化学製品、建設、鉄鋼等である。

他産業に対する影響力、他産業から受ける感応度がともに弱い業種（第3象限）は、教育・研究、農林水産業、公務、水道・廃棄物処理等である。

他産業に対する影響力が弱く、他産業から受ける感応度が強い業種（第4象限）は対事業所サービス、商業、金融・保険、運輸等である。

---

### 影響力係数

ある産業に対する需要が全産業に与える影響の度合いを示す係数で、大きいほど他産業に対する影響力が大きい。

影響力係数 = (逆行列係数の列和) / (逆行列係数の列和の平均値)

### 感応度係数

全産業に対する新たな需要による特定の産業の感応度を示す係数で、大きいほど他産業による感応度が大きい。

感応度 = (逆行列係数の行和) / (逆行列係数の行和の平均値)

表1 影響力係数と感応度係数

《第2象限》	感応度係数	影響力係数	《第1象限》	感応度係数	影響力係数
06 化学製品	0.985573	1.044462	16 その他の製造工業製品	1.155071	1.061021
17 建設	0.961848	1.014446	10 非鉄金属	1.081129	1.178708
32 分類不明	0.952110	1.242438	24 通信・放送	1.077208	1.003721
09 鉄鋼	0.899058	1.067583	05 パルプ・紙・木製品	1.073888	1.053111
08 窯業・土石製品	0.861374	1.054594			
02 鉱業	0.853434	1.046541			
11 金属製品	0.850482	1.042796			
03 食料品	0.839366	1.048543			
31 事務用品	0.819922	1.195133			
04 繊維製品	0.819244	1.051696			
《第3象限》	感応度係数	影響力係数	《第4象限》	感応度係数	影響力係数
26 教育・研究	0.990031	0.865620	29 対事業所サービス	1.880071	0.938700
01 農林水産業	0.953722	0.966994	20 商業	1.623295	0.933239
25 公務	0.917910	0.870571	21 金融・保険	1.621771	0.942141
19 水道・廃棄物処理	0.908376	0.962868	23 運輸	1.241971	0.946564
30 対個人サービス	0.881785	0.991967	18 電力・ガス・熱供給	1.206220	0.948644
07 石油・石炭製品	0.864864	0.923806	22 不動産	1.002072	0.824346
12 一般機械	0.801387	0.988464			
28 その他の公共サービス	0.800258	0.946649			
13 電気機械	0.775663	0.949926			
27 医療・保健・社会保障・介護	0.771353	0.971495			
14 輸送機械	0.765442	0.935780			
15 精密機械	0.764102	0.987432			

図1 影響力係数と感応度係数

